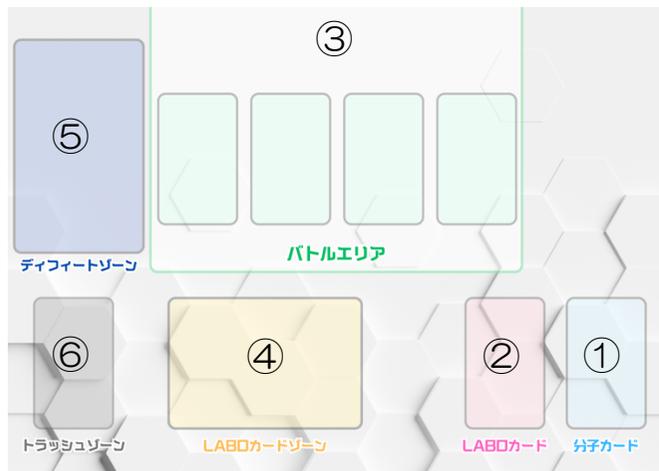


ベーシック・ルール



- ① 分子カードの山札
最初に 30 枚の分子カードを置く場所
- ② Labo カードの山札
ゲームで使用する Labo カードを置く場所
- ③ バトルエリア
バトルで分子カードを置く場所
- ④ Labo カードゾーン
バトルで Labo カードを置く場所
- ⑤ ディフィートゾーン
倒されたカードを置く場所
- ⑥ トラッシュゾーン
使用した Labo カードや分子カードを置く場所

【ゲーム開始前の準備】

使用しない Labo カードリスト

- 実験台の整頓 2 枚
- 分液ロート 2 枚
- 実験ノート 1 枚
- 蒸留 1 枚
- 原料の回収と利用 1 枚
- 薬品の購入 1 枚 以上は箱にしまう

1. ベーシック・ルールでは、分子量や勝敗条件を変える効果が示された Labo カードのみを使用する。上記の使用しないカードは、箱に入れておく。
2. 分子カード、Labo カードそれぞれの山札をシャッフルし、指定された所に置く。
3. 分子カードの山札から、手札を 7 枚とる。
4. Labo カードの山札から、手札を 3 枚とる。

【ゲームの流れ】

1. バトルで使用する分子カードを手札から選び、バトルエリアに裏向きにして置く。
2. バトルで Labo カードを使用する場合は、Labo カードを裏向きにして置く。Labo カードを使用しない場合は、置かなくてもよい。
3. 「セット」を宣言し、カードを表向きにする。
4. 倒されたカードは、ディフィートゾーンに表向きにして置く。
5. 使用したカード、引き分けたカードはトラッシュゾーンに裏向きにして置く。
6. 1 に戻り、分子カードがなくなるか、勝敗が決まるまでバトルを続ける

【勝敗について】

ディフィートゾーンの**炭素数の合計が 10 以上**になったプレイヤーを**負けとする**。

もしくは分子カードがなくなった時点で炭素数が大きいプレイヤーを負けとする。

【バトルについて】

- 分子量 (molecular weight) が大きいカードが勝つ。
- Labo カード：エバポレーターを使用した場合は、沸点 (boiling point) が高いカードが勝つ。

【アドバンス・ルール共通のルール】

化学反応で分子量を増やす (Labo カードの使用例)

- 1 つの分子カードと Labo カードを使用する (反応させる) ことで、分子量を増やす。

例 Labo カード：硝酸 (ニトロ化)

アルコールもしくはベンゼンのカードと Labo カード (硝酸) を使用する (ニトロ化させる) ことで、**分子量を +45** とする。

反応に必要な分子  or 

ベンゼン (分子量: 78)

→ ニトロベンゼン (分子量: $78 + 45 = 123$)

- 2 つの分子カードと Labo カードを使用する (反応させる) ことで、分子量を増やす。

例 Labo カード：硫酸 (エステル化)

アルコールとカルボン酸の 2 枚の分子カードと共に Labo カード (硫酸) を使用する (エステル化させる) ことで 2 枚のカードの**分子量の和 - 18** とする。

反応に必要な分子  and 

メタノール (分子量: 32) + 酢酸 (分子量: 60)

→ 酢酸メチル (分子量: $32 + 60 - 18 = 74$)